

小柄でも 雌穂が多収な 極早生品種

サイレージ用 とうもろこし

# 「たちぴりか」

相対熟度 75～80 日クラス

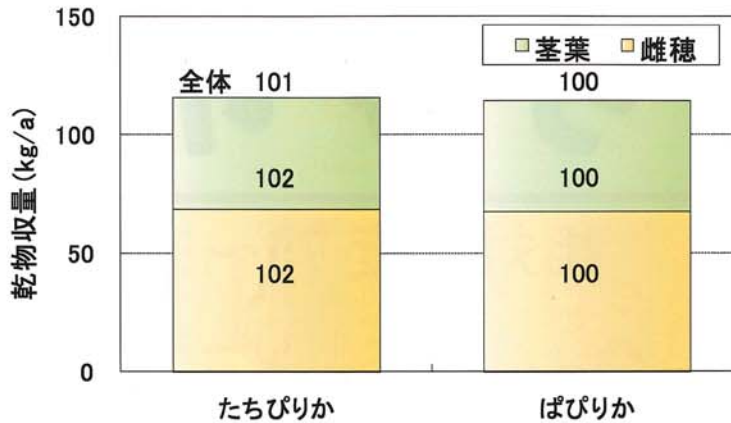
北海道優良品種



栽培適地

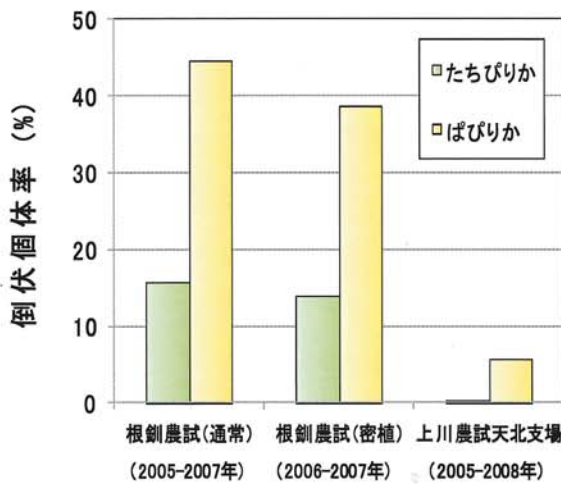
北海道の根釧および道北地域

栄養価の高いサイレージ用トウモロコシには濃厚飼料購入費を節減する効果が期待でき、草地酪農地帯においてもその作付が増えています。「たちぴりか」は、草丈は低いものの雌穂が大きく多収で、「ぱぴりか」並の耐冷性や極強レベルのすす紋病抵抗性を持ち、初期生育や耐倒伏性にも優れています。草地酪農地帯における高品質自給飼料の安定生産に貢献します。



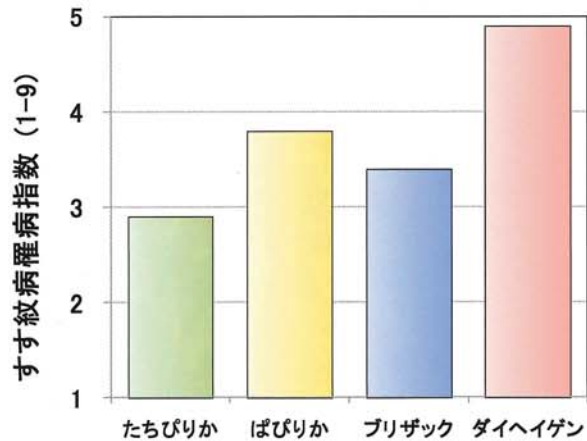
乾物収量は「ぱぴりか」並ですが、雌穂の割合はより高くなっています。

注) 棒中の数字は上からホールクロップ、茎葉および雌穂について「ぱぴりか」を100としたときの収量比



「たちぴりか」は「ぱぴりか」に比べ、いずれの場所・栽植密度でも倒伏が少ないです。

注) 倒伏個体率は、倒伏と折損を合計した数値。



すす紋病抵抗性は極強で、抵抗性のレベルはより晩生の品種にも劣りません。

注) すす紋病罹病程度は、1:無発病~9:全葉枯死の評点値で、数字が小さいほど抵抗性が強い。

【育成機関】 問い合わせ先:

北海道農業研究センター 酪農研究領域  
飼料作物グループ TEL 011-857-9272 (直通)